

主な内容

- 2・3面
 - ・決算特別委員会
- 4～7面
 - ・一般質問
 - ・常任委員会審査報告
 - ・特別委員会中間報告
- 8面
 - ・議決結果一覧
 - ・陳情



▲10月20日に行われた市制施行65周年記念市民パレード

令和元年第3回定例会 平成30年度各会計の決算を認定 一般会計決算歳出総額97.9億円

令和元年第3回市議会定例会は、9月2日から9月30日までの29日間の会期で開催されました。

市長提出議案は、平成30年度府中市一般会計歳入歳出決算の認定についてなど23件を審議した結果、可決14件、認定7件、可決及び認定1件、同意1件となりました。議員提出議案は1件を審議した結果、可決となりました。また、陳情7件が審議されました。

平成30年度の決算は、一般会計歳入歳出予算額100.3億5568万7000円に対し、歳入決算額は101.3億9759万2000円、執行率は101%、歳出決算額は97.9億5573万3000円で、執行率は97.6%です。その結果、歳入歳出差引額は、34億4185万8000円となり、このうち6億3500万円については、法の規定により財政調整基金及び公共施設整備基金に編入しています。

この議案の提案に当たり、市長から「歳出では、第6次府中市総合計画前期基本計画におけるまちづくりの成果を引き継ぎながら、後期基本計画による新たなスタートを着実に果たすとともに、ラグビーワールドカップ2019や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を、まちの発展や魅力発信のチャンスと捉え、施策ごとの目標を達成するための取組を積極的に推進した。

また、公共施設の老朽化に備え、基金への積立てを増額するなど、将来に向けた財源の確保に努めると同時に、引き続き行財政改革推進プランに基づき、持続可能な行財政運営に努めた。

30年度の主な成果としては、国史跡武蔵国府跡国司館地区の整備や郷土の森博物館プラネタリウムのリニューアルのほか、二つの国際大会に向け

定例会日誌

(次の日程で開催しました)

<9月>

2日	本会議(委員会付託等)
3日	〃 (一般質問)
4日	〃 (〃)
5日	総務委員会
6日	文教委員会
9日	厚生委員会
10日	建設環境委員会
11日	基地等跡地対策特別委員会 議会運営委員会
12日	市庁舎建設特別委員会
13日	学校施設老朽化対策特別委員会
18日	本会議(常任委員会審査報告等)
19日	予算・決算特別委員会
20・24・25・26日	決算特別委員会
30日	議会運営委員会 本会議(特別委員会審査報告等) 総務委員会

意見書(要旨)

◎核兵器廃絶のため、日本政府が積極的な役割を果たすことを求める意見書

広島、長崎に原爆が投下されてから74年、被爆者を先頭に多くの人々が核兵器の非人道性を訴え、核兵器廃絶を求める運動を続けてきた。

日本は、核兵器不拡散条約に署名、批准した唯一の戦争被爆国として、核兵器廃絶のための取組を更に進めるべきだと考える。

平成29年7月に国連で採択された核兵器禁止条約は、核兵器の使用や実験により被害を受けた個人への援助を行う責任も明記され、被爆国、被害国の国民の切望に応えるものとなっている。

よって、本市議会は政府に対し、核兵器廃絶へ積極的な役割を果たし、核兵器禁止条約に署名し、批准することを強く求める。

定例会最終日の本会議に、市長から人権擁護委員候補者の推薦の同意を求める議案が提出され、次の方が同意されました。

人権擁護委員候補者
戸井田哲夫 氏(69歳)

人事議案